

普及活動情勢報告

(各月の普及の動き毎月25日までに報告)

普及活動情勢報告（平成25年5月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

ニラ現地検討会の開催



ニラの生育状況を確認

4月25日、JA長岡ニラ部会による定例会及び現地検討会が開催され、農家8名、園芸連等が参加しました。

定例会では、異物混入、農薬や作業事故防止等への意識啓発、現地ほ場では、ニラの生育状況等について意見を交わしました。

農業改良普及課は現地ほ場で、はたき落としによる害虫発生確認の実演と適期防除を指導しました。

参加者からは、「結構虫がおる、防除せんといかん!」、「確認方法が解り勉強になった」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後、収量、品質の向上に向け支援していきます。

谷相集落営農組合直販部会の学校給食に向けたタマネギ収穫



直販部会員の笑顔

4月26日、谷相地区集落営農組合直販部会では、昨年11月に大宮小学校3年生が植え付けたタマネギを収穫しました。冬には寒い日が続き、生育が遅れましたが、子供達に美味しいタマネギを食べさせたいという直販部会員の思いから、立派なタマネギを収穫することができました。

農業改良普及課では、オペレーターが耕耘や畦立てなどを行い、直販部会員が日々の管理を行う体制や、子供達とのふれあいを大切にしながら学校給食に食材を提供する仕組みをつくりました。

大宮小学校との交流では、ソラマメの収穫体験などを計画しており、子供達と直販部会員の笑顔がますます増えるように支援していきます。

やっこねぎ現地検討会の開催



他地区部会員の優良ほ場を見学

JA土佐香美やっこねぎ部会は、例年4～5月に現地検討会を開催しており、本年度は市内12カ所で実施します。

5月9日、明治地区で現地検討会が開催され、生産者25名が参加し、香北地区の優良ほ場を見学しました。

農業改良普及課は濃度障害・土壌病害・耕盤形成に関する対策、JAは防除・施肥・他産地の状況について情報を提供しました。

生産者は、土性の違いやかん水方法、防除対象と頻度、利用品種の特徴などを確認し、意見を交換しました。

農業改良普及課は、今後も小ネギの安定生産に向けた支援を継続していきます。

やすらぎ市加工所先進事例調査



トマト加工の様子を調査中

5月13日、夜須町の協同組合やすらぎ市で、加工開発に取り組む4名が先進事例調査を行いました。

農業改良普及課は、地産地消・外商課と連携し、調査計画を作成するとともに、実践を支援しました。

その結果、原料の保存方法や加工用の器具の大きさによって加工方法が違ってくることについて理解を深めることができました。

農業改良普及課は、今後も地産地消・外商課や工業技術センターと連携を取りながら、加工品開発を支援していきます。

土佐山田小学校で出前授業を開催



クイズに答える児童

5月14日、J A土佐香美土佐山田支所青壮年部と共に土佐山田小学校でお米に関する出前授業を開催し、児童75名、教員2名、関係機関6名が参加しました。

農業改良普及課は、米についての豆知識、イネの一生、昔と今の作業の違いについて授業し、最後に授業内容の復習も兼ねたお米に関するクイズを行いました。

参加した児童からは「お米づくりで嬉しいことは何ですか。」「お米にはどんな種類がありますか。」等の質問があり、普及課、青壮年部が説明しました。

農業改良普及課では、今後も出前授業を活用し、米をとoshした食育を支援していきます。